

3D/2D図面、技術文書統合管理システム 「NaviPortal[®]」のご紹介

発表者：東電設計株式会社 システム企画部
大島 紀夫 n_ohshima@tepsco.co.jp

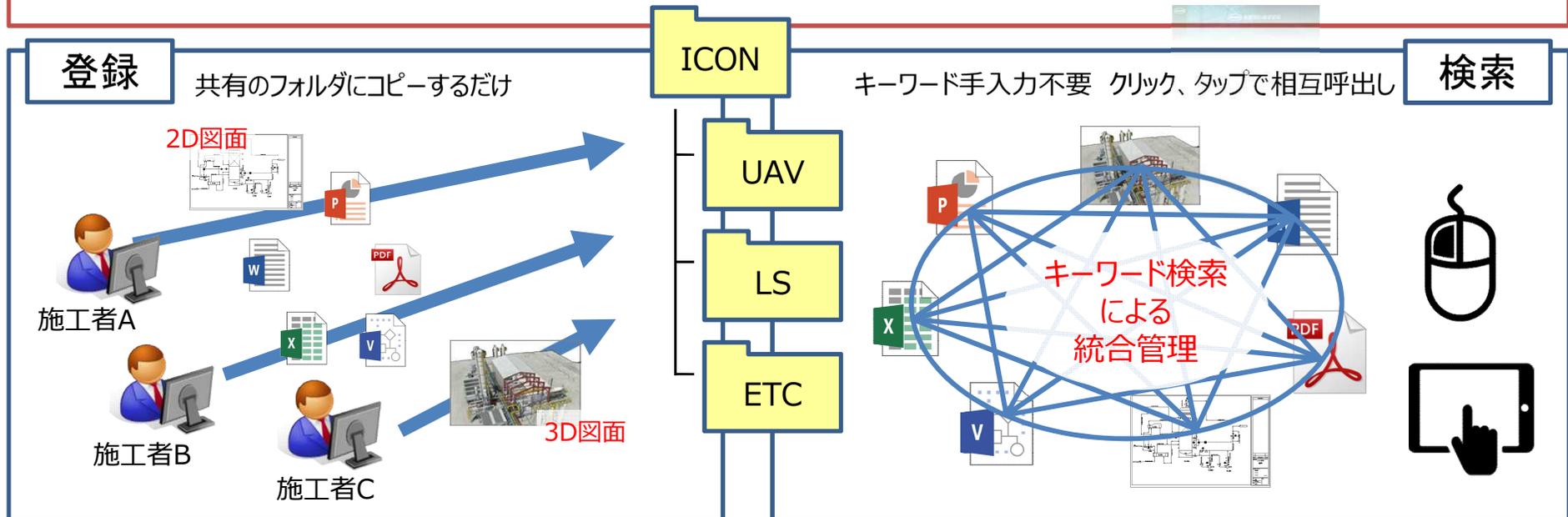
シーズの概要

シーズの概要

- NaviPortalは、平成20年からパッケージ販売している図面に対応した「検索」アプリ。
- 図面（3D／2D）の他、Excel、Word、PDF、HTMLなどに対応したマルチビューワ。
- 独自技術の全文検索エンジンを搭載。
- 3D図面検索は、Navisworksファイルの属性値に対応。
- 2D図面検索は、DWFファイルの属性値に対応。



検索を楽に、簡単に



想定しているニーズに対するシーズの活用(案)

想定しているニーズに対するシーズの活用(案)

- 施工者、発注者間で設計データを相互に確認できる情報基盤としての活用。
- フォルダ構成をi-Constructionに準拠すれば、
 - ✓ 電子納品時の手間を低減。
 - ✓ 建設時データをそのまま、維持管理に活用。

建設プロジェクトデータ管理

ハンドオーバー

維持管理ツール



BIM・CIM × 全文検索 = FM

現場導入による効果

現場導入による効果

- 情報検索の手間を大幅に低減。
- 業者間で共通活用できる図面データ形式として、Navisworks形式(3D)を採用。
 - ✓ 作成ソフト毎に専用ビューワを所有する必要なし。

現場導入した事例

- ゼネコンのBIMにおける採用実績。
 - ✓ 病院など商業施設の建設において建設時に集められたデータをNaviPortalのデータとソフトをセットにし、ビルメンテナンス会社へ提供。
 - ✓ 工場の建設時3Dデータ（建物：ゼネコンデータ、生産装置：メーカーデータ）と竣工図、取り扱い説明書等技術文書を集約しNaviPortalで納品。
- その他、維持管理システムとして施設オーナー企業での採用実績多数あり。

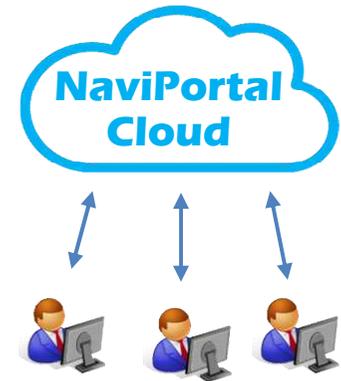
現場導入にあたっての課題

当該技術を現場導入する上での課題等

- LandXMLデータを利用するには、Navisworks形式に変換する必要あり。
(Navisworksの現行バージョンでは、直接LandXMLを開くことができない)
- LandXMLの属性を変換するには検証が必要。
- 業者間で共通利用できるファイルサーバーが必要。

今後の技術の発展性等

- インターネット回線を介したNaviPortalの利用 (SaaS) サービスを予定
- 無償公開地図上 (国土地理院標準地図など) での検索・GIS対応
- 建設現場での試行が必要
 - ✓ 現場ニーズに沿った機能の拡張
 - ✓ 弊社では、現場の導入支援、データ管理支援サービスを提供します



LandXML To Naviswork (参考)

変換例

